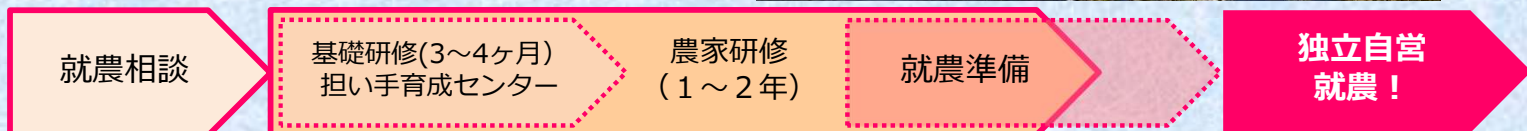


産地提案書 独立・親元タイプ
夏秋ピーマン部会(JA高知県)

四万十町で夏秋 ピーマン農家を 募集します！



就農までの流れ (I・Uターン就農)



就農までの流れ (親元就農)



求める人材(1名募集)

【共通】

- ① 年齢が20歳以上60歳未満の方 (夫婦が望ましい)
- ② 受入農家のもとで1年間の実践研修を行える方
- ③ 慣行栽培で取り組みできる方

【Iターンの場合】

- ① JA部会活動及び地域活動に積極的に参加できる方
- ② 営農活動に使用できる自己資金 (生活費を除く) が500万円以上ある方
- ③ 四万十町に居住できる方

【Uターンの場合】

- ① 営農活動に使用できる資金の確保ができる方
- ② 管内に居住する家族が同意する方

支援制度

【就農前】

- ① 研修期間中、最長2年間、国・県の支援制度あり

【就農後】

●独立自営の場合

- ① 就農してから最長3年間、国の支援制度あり

●親元就農の場合

- ① Uターン就農で農業担い手育成センターで3ヶ月以上の研修を受講する場合、県の支援制度あり
- ② 経営継承時、町の支援制度あり

*それぞれ要件があります

生産基盤等の情報

【農地・施設】

農業委員会、農地中間管理機構と連携して提供可能な施設・農地の情報を収集・紹介します

【住宅】

町役場と連携して空き物件の情報を紹介します

支援体制

●四万十町担い手育成総合支援協議会によるサポート

四万十町役場、JA高知県、高南農業改良普及所などで構成されており、就農相談から就農後も必要に応じてみなさんをサポートしていきます。

●JA夏秋ピーマン部会によるサポート

営農アドバイザー-巡回、現地検討会などにより栽培技術の向上に取り組んでいます。

先輩就農者の紹介

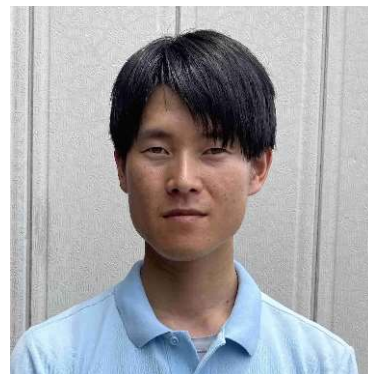
就農相談

親元研修
(1年)

親元就農
(経営継承)

就農前は会社員をしていましたが、農業をしていた父が体調を崩した際に、自分もいつかは就農したいという思いもあった為、就農を決意しました。

初期投資が少なく始めることが出来ることと、父が2年ほどピーマンを栽培していたこともあったため、父の指導のもと露地ピーマンの栽培を始めました。部会や先輩農家さんの支援もあり、ピーマン栽培を続けていけるという感触を掴めたため、レンタルハウス事業を活用して雨よけハウスを建て、現在栽培しています。



先輩農家：河野桂太さん

栽培を始める方へのアドバイスとしては、わからないことがあれば関係機関はもちろんのこと、周りにいる先輩農家さんの圃場を見に行くことで優しく教えてくれるので、積極的に聞きに行ってみてください。部会も若い生産者が多く、意見交換も盛んに行われているので、安心してください。

夏秋ピーマン農家の作業体系と経営モデル

※就農5年後のモデルであり、所得を保証するものではありません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハウス				定植		収穫						

経営面積

ハウス 15a

売上高

700万円

支出合計

440万円

所得

260万円

- 〈経営モデル〉
- 10a当たり収量11,000kg (産地平均)
 - 家族労働力2人+雇用1人

四万十町の地域情報

- ▼人口 14,915人 ※R7.2時点
- ▼令和5年度の新規就農者 15人
- ▼未就学児の医療費助成有。
- ▼教育施設数 保育所：10施設・認定こども園：1施設
小学校：11校・中学校：3校・高校：2校
- ▼町内にある農業研修施設「高知県立農業担い手育成センター」では栽培に関する基礎講習や機械操作研修などの受講が可能。

まずはお電話ください！

問い合わせ先：高知県農業協同組合 高西営農経済センター営農指導課
高知県高岡郡四万十町榊山町586-2
TEL：0880-22-5179 FAX：0880-22-5177
E-mail：kos-shi-einoshido@ja-kochi.or.jp

令和7年2月改定